

「よいしょ」の年は終わるのか？

株式会社榎戸材木店
会長 榎戸 正人

歳を取ると立ち上がる時や物を持ち上げるときに、思わず「よいしょ！」の声が出ます。外国ではどうなのかわかりませんが、日本ではこの「よいしょ！」は男女を問わず、全国に共通の掛け声ではないかと思います。

そして今年、「よいしょ！」が上手い女性が総理大臣になりました。あの気難しく傲慢なアメリカ大統領に気に入られ、日米関係はますます緊密なものとなりました。首脳会談の開始が遅れ、大統領と共に姿を現し、最初に大統領と一緒にテレビでワールドシリーズを見ていましたなどと笑いを取れる総理大臣は小泉元総理以来でしょう。

アメリカと付き合うにはユーモアのセンスはとても重要です。生真面目な日本の政治家には理解できないでしょうが、気の効いたジョークが言えないヤツは大統領になれないと言われる国を相手に会談をするのですから、笑いを取ることは大切です。

トランプ氏をノーベル平和賞に推薦するというのは最高のジョークだと思ったのですが、言った高市首相はジョークではなく「よいしょ！」のつもりで、聞いたトランプ大統領も大満足だったようです。この首脳会談、総理は大統領に媚を売り過ぎたとの批判の声もありましたが、あの気難しく頑固で気まぐれな大統領のご機嫌を取ることは日米交渉の第一歩です。

実際の交渉は生真面目なベッセント財務長官と行うわけで、トランプ氏は座長に過ぎません。座長のご機嫌を損ねたら、せっかくの大切な芝居公演は台無しです。主役のベッセント氏と共演して名舞台を作るには、座長のご機嫌を取ることは大切で、けして批判されるべきものではありません。他の人が総理になっていたら、あの舞台は作れなかったでしょう。

しかし、それはトランプ氏がアメリカ大統領として幅を利かせている間のこと。トランプ関税の悪影響は、これからアメリカを襲います。徐々に上がっていく物価、解雇されると次の仕事が見つからず長く続く失業……トランプが大統領になれば、今までより生活が良くなるとの期待は裏切られ、失望は怒りに代わっていきます。

問題は、そうなった時にトランプ氏がさらにとんでもない政策を打ち出してくることで、何が起きても自分のせいだとは認めない人ですから、そのはけ口は外国に向かうでしょう。中国やロシアとの関係は益々悪化していきます。

日本にもその刃は向けられるでしょうが、高市総理は簡単には無理な注文には応じません。初めての日米首脳会談でトランプ氏に媚びているとの批判がありましたが、あの人は優れた猛獣使いなので頭を撫でる時もあれば、相手が逆らって噛みつこうとすれば鞭を振るうこともあり得ます。日米関係が悪化しないように上手く納められるかが、新総理の腕の見せ所です。

日本の防衛費がGDPの2%では少ない。NATO諸国並みに5%にしろと言われても、それを黙って飲む人ではありません。日本は世界最強の武器を手に入れたのですから、アメリカの言いなりになる必要はありません。世界最強の武器……それは高市総理です。どこまでトランプ氏を手なずけられるか、「よいしょ！」の年が終わり、喧嘩の「用意しょ」にならないと良いのですが……いずれにしても、来年は波乱の年になりそうです。